



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 オルガノ株式会社
 コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内倉 昌樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 安藤 実
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5635-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,585	2.8	339	74.0	382	72.0	58	
2020年3月期第1四半期	20,149	19.0	1,305		1,367		807	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 203百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 824百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.12	
2020年3月期第1四半期	70.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	95,963	59,998	62.4
2020年3月期	101,448	60,857	59.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 59,874百万円 2020年3月期 60,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		47.00		57.00	104.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		52.00		52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	3.6	2,000	63.3	1,950	63.3	1,200	67.0	104.77
通期	100,000	3.6	7,200	27.3	7,100	28.5	4,700	34.4	410.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

本業績予想に織り込んでいる新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、現段階で想定できるものに限定しております。今後、状況に応じて適宜業績予想の修正を行ってまいります。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	11,589,925 株	2020年3月期	11,589,925 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	136,678 株	2020年3月期	136,593 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	11,453,311 株	2020年3月期1Q	11,423,035 株

当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、当連結会計年度の第1四半期(2020年4-6月)は、国内・世界経済とも大きく混乱する中で推移いたしました。当社グループを取り巻く主要な市場の動向については、電子産業分野ではテレワークの拡大などを背景に半導体関連の需要が底堅く推移し、特に台湾では先端半導体向けの積極投資が続くなど、設備投資・生産水準とも堅調に推移しております。一方、一般産業分野では一般的に設備投資を抑制・延期する動きがみられており、特に影響の大きい自動車や外食などの業種においては機能商品の販売にも影響がみられました。また、電力・上下水分野では電力関連の設備投資や規模の大きなメンテナンス等を抑制する動きがみられたものの、上下水関連では大きな影響は生じておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高27,057百万円(前年同期比38.7%増)、売上高19,585百万円(同2.8%減)となり、第1四半期末の繰越受注残高については75,003百万円(同27.5%増)となりました。また利益面については、営業利益339百万円(同74.0%減)、経常利益382百万円(同72.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失58百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益807百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業の受注動向につきましては、一般産業分野で設備投資の抑制・延期の動きがみられたことで国内・東南アジアでプラント部門の受注が減少いたしました。電子産業分野において、国内のプラント部門・ソリューション部門が堅調に推移したことに加え、台湾における先端半導体向けの積極的な設備投資や、前期に米中摩擦の影響で大きく落ち込んだ中国での半導体関連の投資回復などによって大きく拡大いたしました。また電力・上下水分野では電力向けのメンテ案件で一部発注時期を延期する動きがみられたものの、上下水向けの大型案件を受注したことでほぼ前年同期並の受注高を確保しております。この結果、受注高は22,563百万円(前年同期比49.7%増)となりました。

売上高の動向につきましては、電子産業分野において一部のメンテナンス工事で実施時期の延期がみられたほか、前期からの繰越受注残となっている半導体関連の大型プロジェクトの工事進捗が本格化していないことなどから、大型案件の売上計上があった前年同期と比較して売上が減少いたしました。一般産業分野では前期に受注した国内案件の売上が伸長したものの、東南アジア向けの売上が減少しほぼ前年同期並の結果となりました。また、電力・上下水分野は国内のソリューション案件を中心に堅調に推移し、前年同期を若干上回る売上を計上しております。この結果、売上高は15,257百万円(同2.0%減)となりました。

一方利益面では、前年同期は比較的採算性の良い案件やコストダウン効果の大きかった案件の売上が集中したことに加え、当期は電子産業分野を中心に受注環境等の影響で利益率が低下したことにより営業利益201百万円(同81.8%減)となりました。

[機能商品事業]

当事業におきましては、自動車産業や外食産業向け、検診や一般診療など医療機関向けの販売が、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けて減少いたしました。電子産業向けの水処理薬品の販売が堅調に推移したことに加え、除菌・消臭用の微酸性電解水であるオルプラスの販売が好調だったことなどから、受注高4,493百万円(前年同期比1.2%増)、売上高4,327百万円(同5.4%減)となりました。

一方、利益面に関しましては、国内外の営業体制の強化や新商品・新技術に向けた開発投資の拡大等によるコストの増加などが影響し、営業利益138百万円(同30.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,485百万円減少し、95,963百万円となりました。これは主に、仕掛品を中心としたたな卸資産2,041百万円の増加に対し、現金及び預金4,439百万円、受取手形及び売掛金2,519百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,625百万円減少し、35,964百万円となりました。これは主に、短期借入金3,524百万円の増加に対し、支払手形及び買掛金3,216百万円、その他の流動負債2,361百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ859百万円減少し、59,998百万円となりました。これは主に、配当金の支払等に伴う利益剰余金714百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足下の状況では、水処理エンジニアリング事業において電子産業分野が好調に推移しており、一般産業分野では設備投資案件に抑制の動きがある中、メンテナンス等のソリューションサービスの売上には大きな影響は出ていない状況です。また、機能商品事業においても一時的な業績の落ち込みがみられたものの受注・売上は回復傾向にあることから、現時点では第2四半期累計期間、通期の業績予想とも2020年5月12日発表の予想を据え置くことといたします。なお、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響につきましては、織り込んでいる影響額は現段階で想定できるものに限られているため、状況に応じて適宜見通しの修正を行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,772	9,332
受取手形及び売掛金	36,783	34,263
電子記録債権	1,590	2,009
リース投資資産	11,752	11,262
商品及び製品	5,710	5,845
仕掛品	2,728	4,632
原材料及び貯蔵品	1,392	1,394
その他	2,448	2,174
貸倒引当金	△98	△95
流動資産合計	76,078	70,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,909	17,895
減価償却累計額	△12,562	△12,635
建物及び構築物（純額）	5,347	5,259
機械装置及び運搬具	5,697	5,664
減価償却累計額	△4,974	△4,993
機械装置及び運搬具（純額）	722	671
土地	12,284	12,273
建設仮勘定	98	95
その他	5,088	5,124
減価償却累計額	△4,245	△4,300
その他（純額）	842	824
有形固定資産合計	19,296	19,124
無形固定資産	1,113	1,122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,553	1,531
繰延税金資産	3,037	3,008
その他	780	768
貸倒引当金	△411	△411
投資その他の資産合計	4,959	4,897
固定資産合計	25,369	25,144
資産合計	101,448	95,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,381	11,164
短期借入金	7,644	11,168
未払法人税等	1,959	371
前受金	1,543	1,559
賞与引当金	1,339	536
製品保証引当金	324	499
工事損失引当金	64	108
役員株式給付引当金	105	131
その他の引当金	10	6
その他	4,866	2,505
流動負債合計	32,240	28,052
固定負債		
長期借入金	2,095	1,800
繰延税金負債	9	-
退職給付に係る負債	6,153	6,033
その他	91	79
固定負債合計	8,349	7,912
負債合計	40,590	35,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	46,081	45,367
自己株式	△537	△538
株主資本合計	61,277	60,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143	149
為替換算調整勘定	△178	△340
退職給付に係る調整累計額	△525	△497
その他の包括利益累計額合計	△560	△688
非支配株主持分	140	123
純資産合計	60,857	59,998
負債純資産合計	101,448	95,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	20,149	19,585
売上原価	14,791	15,315
売上総利益	5,358	4,270
販売費及び一般管理費	4,053	3,930
営業利益	1,305	339
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	12	13
受取保険金	9	96
持分法による投資利益	73	-
その他	6	8
営業外収益合計	111	124
営業外費用		
支払利息	34	22
為替差損	11	31
貸倒引当金繰入額	1	-
持分法による投資損失	-	25
その他	1	1
営業外費用合計	48	81
経常利益	1,367	382
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産廃棄損	1	0
施設利用権評価損	-	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,366	383
法人税等	558	437
四半期純利益又は四半期純損失(△)	807	△54
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	807	△58

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	807	△54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	6
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	21	△183
退職給付に係る調整額	21	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	16	△149
四半期包括利益	824	△203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	820	△186
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,573	4,575	20,149	—	20,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	80	80	△80	—
計	15,574	4,656	20,230	△80	20,149
セグメント利益	1,107	197	1,305	—	1,305

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,257	4,327	19,585	—	19,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	79	80	△80	—
計	15,257	4,407	19,665	△80	19,585
セグメント利益	201	138	339	—	339

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。